

馬ねぶた・踊り・仮装が観衆を魅了

つがる市馬まつり 2012

馬ねぶた大賞 知求群会

尾崎順子さんの「林檎華憐歌」の生歌に乗せてよさこい演舞。力強い農耕馬の馬ねぶた、源平の武者の仮装が観衆を魅了した



馬ねぶた製作大賞 大畑馬ねぶた愛好会

スゲ草を編んで作った親子の馬。家族の絆を表現



踊り大賞 柏友会 桑寿園

華やかな衣装と息の合った踊りを披露



「馬ねぶたパレード」が行われ、馬ねぶた24台、仮装13チーム、踊り15チームの約1300人が参加し、中心街を練り歩きました。迫力ある馬ねぶたに続き、各チームが趣向を凝らした仮装や華麗な踊りを披露すると、沿道の観衆からは盛んな拍手が沸き起こりました。

栄えある馬ねぶた大賞は4年連続で知求群会が受賞、踊り大賞には柏友会桑寿園、仮装大賞には航空自衛隊車力分屯基地馬ねぶた愛好会、馬ねぶた製作大賞には大畑馬ねぶた愛好会がそれぞれ選ばれました。

「つがる市馬まつり」が8月24日から3日間、市民イベント広場（商工会館前）を主会場に開催され、多くの市民らが多様な催し物を楽しみました。

木造地区では明治36年から馬の競り市が始まり、東北三大馬市に数えられる「馬市」が開催されていきました。昭和50年からは、新田開拓に尽くした農耕馬の霊を慰めようと「馬市まつり」が毎年行われています。

26日は28参加団体による「馬ねぶたパレード」が行われ、馬ねぶた24台、仮装13チーム、踊り15チームの約1300人が参加し、中心街を練り歩きました。迫力ある馬ねぶたに続き、各チームが趣向を凝らした仮装や華麗な踊りを披露すると、沿道の観衆からは盛んな拍手が沸き起こりました。



パレードを盛り上げる上町ねぶた会の囃子



子どもたちの人気を集めた稲垣「藁の会」の藁馬



被災地応援の寄せ書きが添えられた向陽小学校6学年の馬ねぶた



幻想的な世界観を表現する劇団夜行館



スコップ三味線を奏でるつがる市建設業協会



色鮮やかな布の馬ねぶたを曳く喜寿来里馬知



震災復興を願う范中町内会の馬ねぶた



元気に踊る初参加の木造中の生徒たち



流し踊りを披露するイオンモールつがる柏



つがるちゃんも参加

仮装大賞
航空自衛隊車力分屯基地
馬ねぶた愛好会
自衛隊と米軍関係者が日米の
ヒーローに扮してパレード



天に捧げる亡馬の魂～新田火まつり～

馬市まつりのフィナーレを飾る新田火まつり。幻想的な雰囲気の中、巫女と土の精たちの儀式に始まり、馬ねぶたが炎を上げて昇天。打ち上げ花火とともに、新田開拓に尽くした農耕馬の霊を慰めた。



自慢の美声を披露

上原げんと杯のど自慢大会



喜びをかみしめ熱唱する鳴海としえさん

旧木造町出身で「港町十三番地」などのヒット曲を生んだ作曲家・上原げんと（1914～65）を顕彰して毎年開かれている第34回上原げんと杯争奪のど自慢大会の準決勝と決勝が8月25日、木造中央公民館で開催され、市内外から2000人を超える歌謡ファンが詰めかけました。

大会では、準決勝に出場した31組の中から10組が決勝に進出し、「望郷新相馬」を歌った鳴海としえさん（青森市）が第33代チャンピオンに輝きました。

今大会には、特別審査員として作曲家・編曲家の南郷達也さんが決勝の審査を行い、また、ゲスト歌手の三代目コロムビア・ローズさんによるステージも行われ来場者を魅了しました。

決勝順位（敬称略）

- | | | |
|---------------|--------------------|------------------|
| 2位 沢井 美鈴（秋田市） | 3位 松橋 義直（青森市） | 4位 中山 ルミ（弘前市） |
| 5位 木村 久（つがる市） | 6位 佐藤宏実知（秋田県由利本荘市） | 7位 葛西ゆき子（つがる市） |
| 8位 安藤 優蔵（東通村） | 9位 佐藤 正幸（弘前市） | 10位 成田千恵子（五所川原市） |

日頃の訓練の成果を発揮

消防団玉落競技大会

馬市まつり恒例のつがる市消防団玉落競技大会が木造古田川で開催され、多くの市民が見守る中、消防団が放水技術を競いました。大会には消防車両66台が出場。競技の結果は次の通りです。

区分	順位	分 団	記 録
50馬力以下	優勝	稲垣第5分団第1部 沼 館	49秒70
	2位	木造第4分団第1部 蓮 川	1分36秒44
	3位	木造第8分団第2部 小田原	1分38秒11
51～85馬力	優勝	柏 第2分団 玉 水	7秒07
	2位	柏 第5分団 稲 盛	7秒28
	3位	木造第9分団第1部 兼 館	9秒95
86馬力以上	優勝	木造第15分団第1部 柴 田	16秒57
	2位	木造第7分団第1部 永 田	17秒22
	3位	木造第12分団 亀ヶ岡・館岡	23秒60



合図とともに一斉に放水する消防団員

馬市まつり会場で人権啓発、被災地支援募金活動



五所川原人権擁護委員協議会つがる部会（小笠原金美会長）は、馬市まつりの会場でメッセージ入りのうちわとティッシュペーパーを来場者に配布し、人権啓発を呼び掛けました。



育実幼稚園（平田昌子園長）、木造西幼稚園（三上照美園長）の園児30人が、福島県の被災した幼稚園に室内遊具などの支援物資を届けるための募金活動を行い、来場者から善意が寄せられました。